

# ハイブリッド証券ファンド 米ドルコース

追加型投信／海外／債券

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として世界の金融機関が発行する債券や優先証券を実質的な投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り、米ドル買いの為替取引を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年4月15日～2025年10月14日

第185期	決算日：2025年5月12日
第186期	決算日：2025年6月12日
第187期	決算日：2025年7月14日
第188期	決算日：2025年8月12日
第189期	決算日：2025年9月12日
第190期	決算日：2025年10月14日
第190期末 (2025年10月14日)	基準価額 11,547円 純資産総額 1,021百万円
第185期～ 第190期	騰落率 13.5% 分配金合計 150円

(注1) 謄落率は分配金再投資基準価額の謄落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

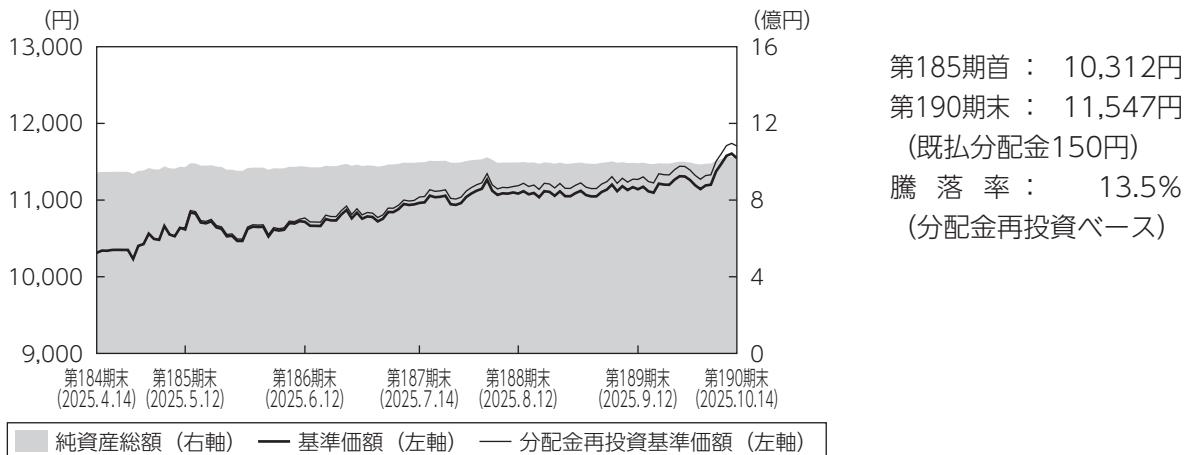
お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

円建てのケイマン諸島籍外国投資信託である「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト-USDクラス」（以下、「サブデット・ファンド」）を通じて、世界の金融機関が発行する債券や優先証券に実質的に投資することを目指しました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資を行いました。ハイブリッド証券市場が上昇したことに加え、円安ドル高となったことから基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第185期～第190期		項目の概要	
	(2025年4月15日～2025年10月14日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	63円	0.578%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,892円です。	
(投信会社)	(24)	(0.220)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価	
(販売会社)	(37)	(0.342)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	
(受託会社)	( 2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用	
合計	63	0.580		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

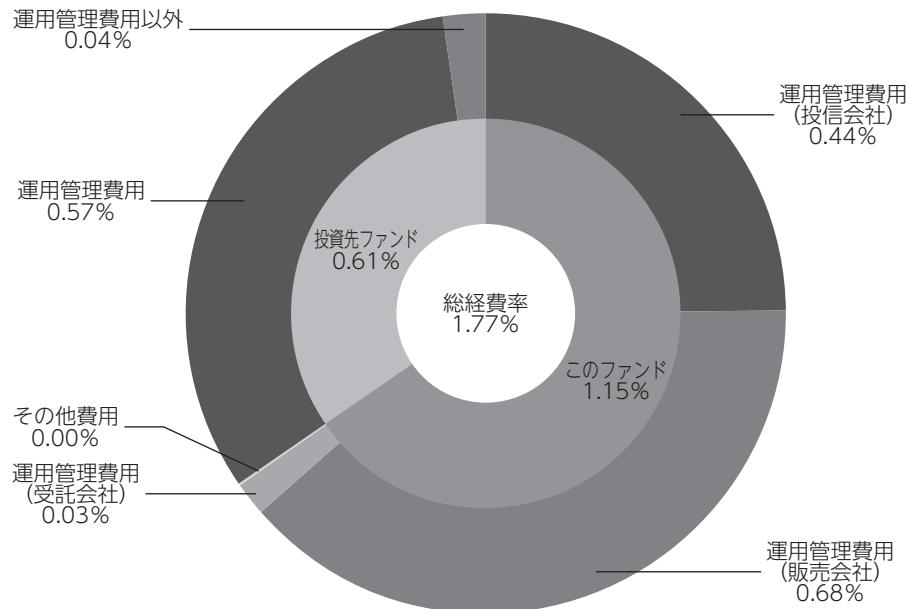
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当社成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①+②+③）	1.77%
①このファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

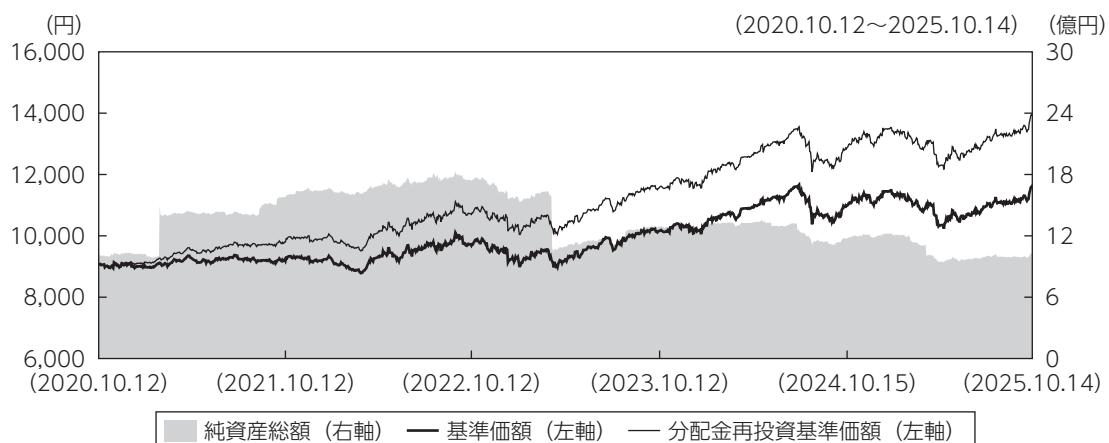
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■ 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年10月12日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年10月12日 期首	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日	2024年10月15日 決算日	2025年10月14日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,078	9,178	9,678	10,163	10,986	11,547
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	600	325	300	300	300
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.9	9.2	8.3	11.2	8.0
純資産総額 (百万円)	1,009	1,577	1,738	1,290	1,176	1,021

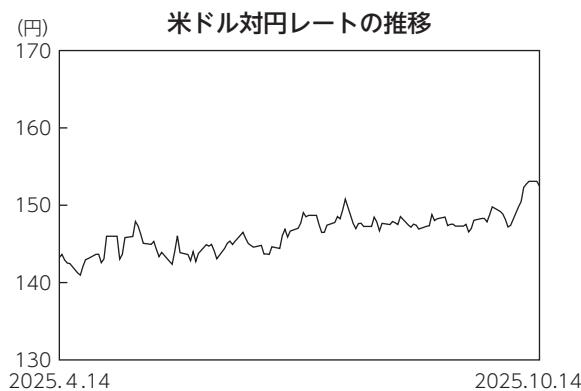
(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 投資環境

ハイブリッド証券市場は上昇しました。期初から米国債利回りの低下を主因に上昇した後、米国の関税政策を巡り世界経済の先行き不透明感が高まったことや米国の財政拡大懸念等により上値が重くなる局面がありました。その後、米国の貿易交渉を巡る先行き不透明感が緩和したこと、インフレの鈍化を受けF R B（米連邦準備理事会）の利下げに対する期待が高まり米国債利回りが低下したこと、投資家のリスク選好が強まったこと等を背景に、上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.3%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。

米ドルは円に対して上昇しました。期初から米トランプ政権の関税政策によりグローバル経済が減速するとの懸念が高まったこと等を背景に、米ドルは円に対して下落しました。その後、中東情勢の緊張が高まった局面でドル高が進んだほか、米国の貿易交渉を巡る先行き不透明感が緩和したこと、良好な経済指標により米国経済の底堅さが確認されたこと、自民党総裁に高市氏が選ばれたことを受け日銀の利上げ観測が後退したこと等を背景に、円安ドル高が進行しました。

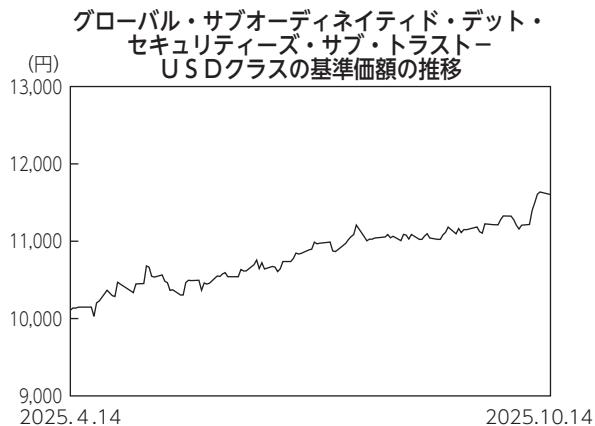


## 【ポートフォリオについて

### ●当ファンド

引き続き、サブデット・ファンドを高位に組み入れました。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

●グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト－USDクラス  
ポートフォリオの構成については、債券種別では期限付劣後債を中心としつつ、優先証券、永久劣後債等も組み入れました。地域別では、米国、英国、フランス、オーストラリアなどにおけるナショナル・チャンピオン（国を代表する金融機関）である上位行を選好しました。欧州銘柄については、ナショナル・チャンピオンの中でも資本の充実した金融機関を中心に組み入れました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

### ●国内短期公社債マザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかつた利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2025年4月15日 ～2025年5月12日	2025年5月13日 ～2025年6月12日	2025年6月13日 ～2025年7月14日	2025年7月15日 ～2025年8月12日	2025年8月13日 ～2025年9月12日	2025年9月13日 ～2025年10月14日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.23%	0.23%	0.23%	0.23%	0.22%	0.22%
当期の収益	25円	25円	25円	25円	25円	25円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	5,518円	5,562円	5,610円	5,657円	5,703円	5,755円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

ハイブリッド証券市場や資金動向などを考慮しながら、安定した収益の確保を目指し、サブデット・ファンドを高位に組み入れる方針です。また、国内短期金融市場や資金動向に留意しながら、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続する方針です。

### ●グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト－ＵＳＤクラス

銀行セクターについては、経済の先行きに不透明感が高まっているものの、ファンダメンタルズが良好との見方に変わりはなく、預金残高が足元で安定的に推移していること、低水準の負債比率や健全な自己資本比率が継続していること等がハイブリッド証券市場の下支えになると想っています。米国、英国、フランス等におけるナショナル・チャンピオンである上位行を中心に組み入れます。また、流動性の維持を重視して市場の不確実性に対応する方針です。

### ●国内短期公社債マザーファンド

日銀は2025年9月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米のような大幅な利上げは見込まれず、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## お知らせ

### 約款変更のお知らせ

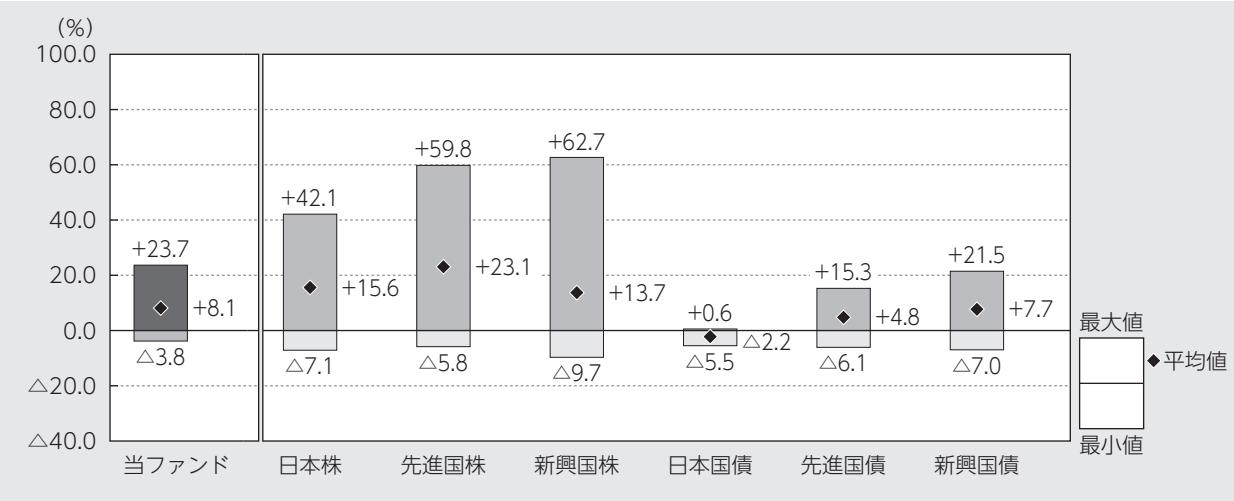
■当ファンドが投資対象とする「国内短期公社債マザーファンド」において、新NISA制度の成長投資枠の要件に沿った表記に改めるため、デリバティブの使用目的を明確化しました。

(2025年6月18日)

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2009年11月16日から2027年10月12日までです。	
運 用 方 針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ハイブリッド証券ファンド 米 ド ル コ ー ス	投資信託証券。
	グローバル・サブ オーディネイティド・ デット・セキュリティーズ・ サブ・トラスト U S D クラス	主に世界の金融機関が発行する劣後債および普通社債等に投資を行います。
	国内短期公社債 マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運 用 方 法	<p>以下の投資信託証券を通じて、主として世界の金融機関が発行する債券や優先証券に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り、米ドル買いの為替取引*を行います。</p> <p>ケイマン諸島籍外国投資信託 グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト U S D クラス (以下、「サブデット・ファンド」といいます。) 円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託)</p> <p>国内短期公社債マザーファンド受益証券</p> <p>各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、サブデット・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。</p> <p>※外国投資信託の投資顧問会社は、為替取引が実行不可能または外国投資信託に重大な影響を与える可能性があると判断した場合には、その裁量で為替取引の全部またはその一部を実施しない場合があります。また、外国投資信託の投資顧問会社は、その裁量により、為替取引などのヘッジ手段を活用し、外国投資信託におけるリスクを軽減させる対応を行う場合があります。</p>	
	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。前記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年10月～2025年9月

（注1）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注2）上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファン  
ドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注3）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

### \*各資産クラスの指標

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BP国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指標は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指標については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2025年10月14日現在）

#### ◆組入ファンド等

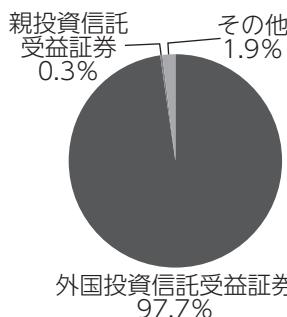
(組入ファンド数：2ファンド)

	第190期末
	2025年10月14日
グローバル・サブオーディネイティッド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト-USDクラス	97.7%
国内短期公社債マザーファンド	0.3
その他	1.9

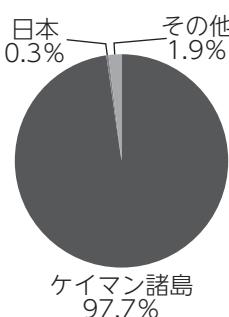
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

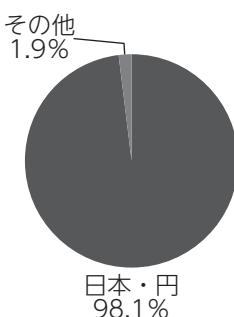
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

(注3) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

## 純資産等

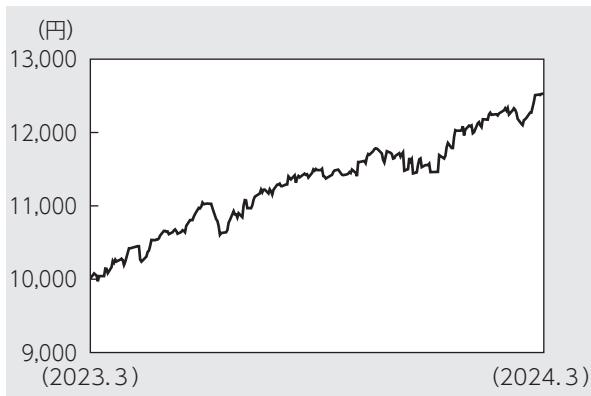
項目	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末
	2025年5月12日	2025年6月12日	2025年7月14日	2025年8月12日	2025年9月12日	2025年10月14日
純資産総額	971,764,157円	975,363,068円	996,598,437円	995,594,994円	991,768,346円	1,021,203,699円
受益権総口数	915,288,262口	910,167,202口	909,091,754口	898,127,806口	890,167,015口	884,378,652口
1万口当たり基準価額	10,617円	10,716円	10,963円	11,085円	11,141円	11,547円

(注) 当作成期間（第185期～第190期）中における追加設定元本額は1,857,445円、同解約元本額は32,732,589円です。

## 組入ファンドの概要

[グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト-USDクラス] (計算期間 2023年4月1日~2024年3月31日)

### ◆基準価額の推移



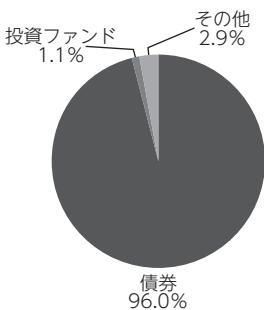
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
CREDIT AGRICOL 4.375% 03/17/25	アメリカ・ドル	3.7%
BNP PARIBAS 4.375% 05/12/26	アメリカ・ドル	3.3%
COOPERATIEVE RA 3.75% 07/21/26	アメリカ・ドル	3.0%
CLOVERIE PLC ZURI V/R 06/24/46	アメリカ・ドル	2.6%
BARCLAYS PLC 5.2% 05/12/26	アメリカ・ドル	2.5%
SOCIETE GENERALE 4.25% 08/19/26	アメリカ・ドル	2.5%
ASSICURAZION V/R 10/27/47/EUR/	ユーロ	2.4%
ABN AMRO BANK N 4.75% 07/28/25	アメリカ・ドル	2.3%
TORONTO-DOMINION V/R 10/31/82	アメリカ・ドル	2.3%
WESTPAC BANKING C V/R 11/23/31	アメリカ・ドル	2.0%
組入銘柄数		103銘柄

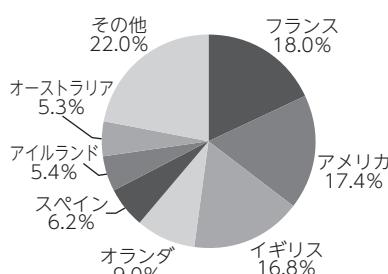
### ◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

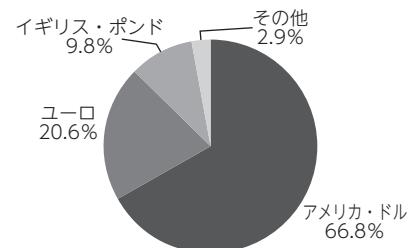
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はグローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト-USDクラスの計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラストの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はグローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラストの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) V/R: 変動利付債

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しております。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

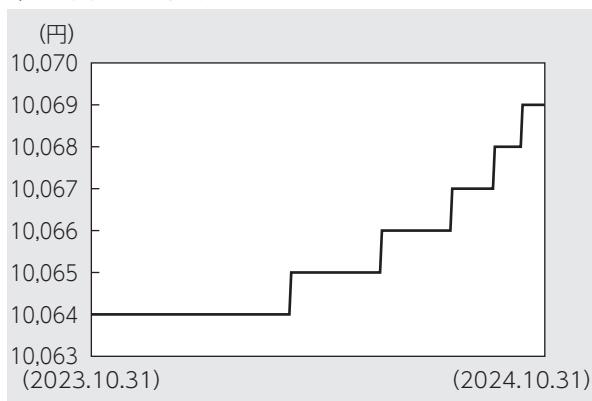
(注8) 「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト-USDクラス」は、「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト」の個別クラスとなっております。

(注9) 米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト」において、原則として債券の発行通貨売り／米ドル買いの為替取引を行っています。

(注10) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## 【国内短期公社債マザーファンド】 (計算期間 2023年11月1日～2024年10月31日)

## ◆基準価額の推移



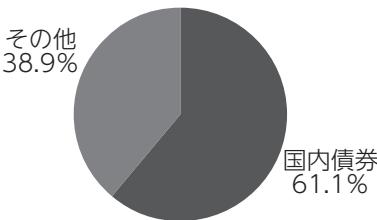
## ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
443回 利付国庫債券（2年）	日本・円	30.6%
452回 利付国庫債券（2年）	日本・円	30.5%
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	2銘柄	

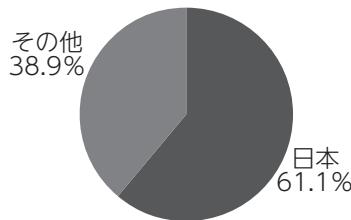
## ◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

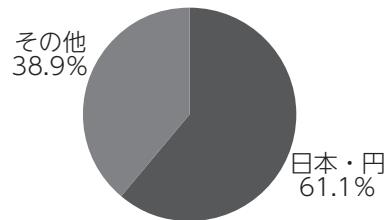
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞

- 「東証株価指数（T O P I X）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指標の指標値および同指標にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用など同指標に関するすべての権利・ノウハウおよび同指標にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。
- 「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指標で、日本を除く世界の主要先進国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指標で、新興国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「N O M U R A - B P I 国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指標です。同指標の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「F T S E 世界国債インデックス（除く日本）」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指標に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。
- 「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指標です。同指標に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

